

資料

赤城山におけるアカエゾゼミの記録と群馬県内の分布

金杉隆雄

群馬県立ぐんま昆虫の森: 〒376-0132 群馬県桐生市新里町鶴ヶ谷460-1

キーワード: アカエゾゼミ, 赤城山, 群馬県, 分布

Collecting record of *Tibicen flammatus* (Cicadidae: Hemiptera) at Mt. Akagi and distribution in Gunma Prefecture

KANASUGI Takao

Gunma Insect World: 460-1, Tsurugaya, Niisato, Kiryu City, Gunma 376-0132, Japan

Key Words: *Tibicen flammatus*, Mt. Akagi, Gunma Prefecture, Distribution

はじめに

アカエゾゼミ *Tibicen flammatus* (DISTANT, 1892) は、体長40~43mmの大型のセミである(図1)。本種は、エゾゼミ *T. japonicus* (KATO, 1925) に似るが、体や翅の赤みが強いこと、前胸背のW字状紋の上側方に白線がなく、側縁も白粉に覆われないこと、前翅の暗色斑は不明瞭で第1・第2横脈上のみ現れること、また、オスの腹弁が円形で末端が腹部第3節に達しないことなどから区別できる(宮武・加納, 1992)。北海道、本州、四国、九州および朝鮮半島、中国に分布し、北海道や東北地方では平地にも生息するが、関東以西では600~1200mの山地のブナ林など自然度が高い落葉広葉樹林に見られる。エゾゼミとほぼ同様な場所に生息するが、個体数は少なく、産地はより局地的であることな

どから、20以上の都府県で絶滅危惧種I類~準絶滅危惧種などに指定されている。群馬県においても本種の記録は少なく、準絶滅危惧種となっている(群馬県, 2002)。

今回、これまで記録のなかった赤城山において本種を採集したので、過去の群馬県内の記録と併せて報告する。

採集状況

2007年8月11日に、前橋市粕川町中ノ沢にある滝沢温泉から南~南東に数百mほど離れた林道脇(標高680m付近)でアカエゾゼミを見つけ採集した。アカエゾゼミは、林道脇に生えていたヤナギ(種不明)の枝、高さ2~2.5mほどの場所についていた。

採集した個体は、体長約40mmのメス個体で、欠損部などはみられず、比較的新鮮な個体であった。

群馬県内での記録

群馬県内におけるアカエゾゼミの記録については、林(1989)の日本産セミの分布調査報告でまとめられている。本報告では、その後の知見を追加して表1にまとめた。

文献による記録としては、利根郡水上町(現みなかみ町)谷川岳頂上(高橋, 1966)、水上町(現みなかみ町)土合口(神部, 1989)、新治村(現みなかみ町)法師温泉(黒沢, 1974)、碓氷郡(現安中市)松井田町霧積(橋本, 1972; 船山1996, 2005)、



図1. 赤城山で採集されたアカエゾゼミ

表1. 群馬県内のアカエゾゼミの記録

No.	記録・採集地点	採集・記録データ	記録文献・標本収蔵場所	備考
①	利根郡新治村(現みなかみ町) 法師温泉	1♂, VIII-1938	黒沢, 1974	
②	利根郡水上町(現みなかみ町) 谷川岳頂上(1963m)	3-IX-1965	高橋, 1966	
③	碓氷郡(現安中市)松井田町 霧積	1970	橋本, 1972	
④	甘楽郡下仁田町東野牧小	1♀, 15-VIII-1983, 里見哲夫 採集	群馬県立自然博物館	収蔵番号 II0003663
⑤	利根郡水上町(現みなかみ町) 土合口	1♂, 23-VIII-1988	神部, 1989	
⑥	碓氷群(現安中市)松井田町 霧積山	1♂2♀, 20-VIII-1995	船山, 1996	抜け殻採集・雌成虫確認
⑦	吾妻郡吾妻町(現東吾妻町)須賀尾2027-1	6-VIII-1995	環境庁, 1998	抜け殻調査結果より引用
⑧	碓氷群(現安中市)松井田町 霧積	1993~1997	船山, 2005	鳴き声確認
⑨	前橋市粕川町中ノ沢	1♀, 11-VIII-2007, 金杉隆雄 採集	群馬県立ぐんま昆虫の森	収蔵番号 Hem-000801

吾妻町(現東吾妻町)須賀尾(環境庁, 1998)などがあり,特に霧積周辺では多いという(橋本, 1971).尚,林(1989)の報告には,加藤(1939)による法師温泉の記録も含まれているが,今回,当該文献を確認することができなかつたので,本報告の表には含まれていない.

また,上記の記録以外に群馬県立自然史博物館の収蔵品として,甘楽郡下仁田町東野牧(旧下仁田町立東野牧小学校)で採集された標本が,今回新たに確認された.

これまでの記録からアカエゾゼミの群馬県における分布域としては,北部から西部の山地が知られていたが(図2),今回,県の中央部に位置する赤城山でも見つかったことから,県内の山地域の広い範囲に生息している可能性が示された.

- ★:今回,採集された地点
- ▲:自然史博物館収蔵標本採集地点
- :文献記録地点
- ※図中の数は表1のNo.に対応.



図2. 群馬県内のアカエゾゼミの記録地点

謝 辞

本稿をまとめるにあたり,群馬県立自然史博物館の高橋克之氏には博物館収蔵のアカエゾゼミ標本の情報を提供していただいた.また,神奈川県立生命の星・地球博物館の高桑正敏博士には文献入手でお世話になった.ここに厚く御礼申し上げる.

引用文献

- 船山洋一(1996):アカエゾゼミの産卵活動について. *CICADA*, **13**(1): 12.
- 船山洋一(2005):アカエゾゼミ発生数の年次変化にみられる周期性について. *CICADA*, **18**(3):50.
- 群馬県(2002):群馬県の絶滅のおそれのある野生生物 動物編.群馬県環境生活部自然環境課,前橋,93p.
- 橋本治二(1971):今月の虫 アカエゾゼミ.月刊むし,(2):27.
- 橋本治二(1972):蝉しぐれー上州の蝉属.月刊むし,(15):16-17.
- 林 正美(1989):アカエゾゼミ.日本産セミの分布調査報告(1),*CICADA*, **8**(1):17.
- 神部昭夫(1989):土合口(群馬県)のアカエゾゼミ. *神奈川虫報*, (88): 34.
- 環境庁自然保護局生物多様性センター(1998):セミの抜け殻データ総目録.第5回自然環境基礎調査(緑の国勢調査) `95身近な生き物調査,42p.
- 黒沢良彦(1974):アカエゾゼミ情報.月刊むし,(41):36.
- 宮武頼夫・加納康嗣(1992):検索入門 セミ・バッタ,保育社.
- 高橋正和(1966):上昇気流に乗ったアカエゾゼミ. *昆虫と自然*, **1**(8): 14.